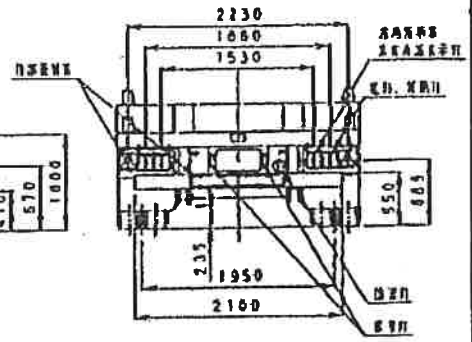
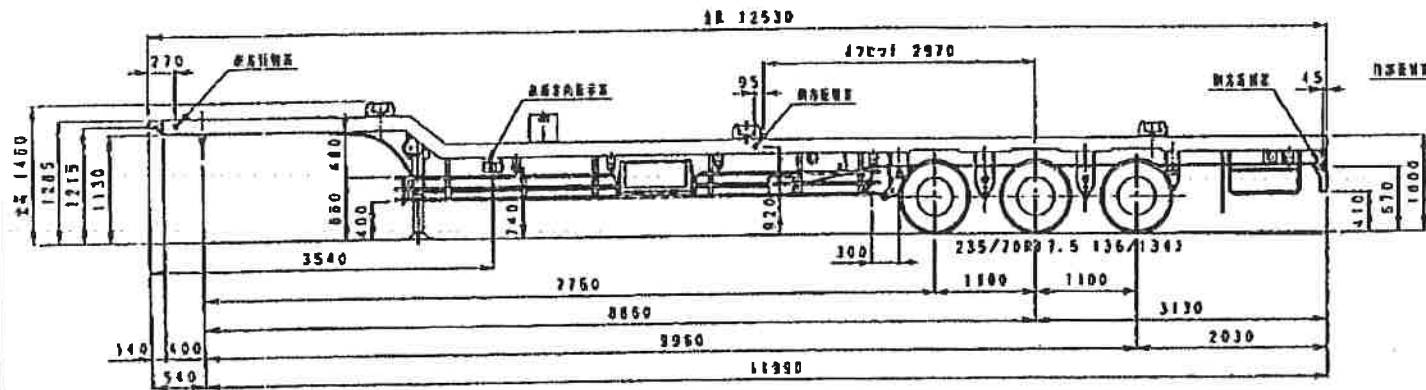
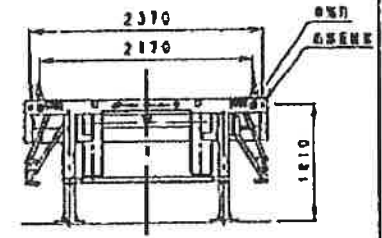
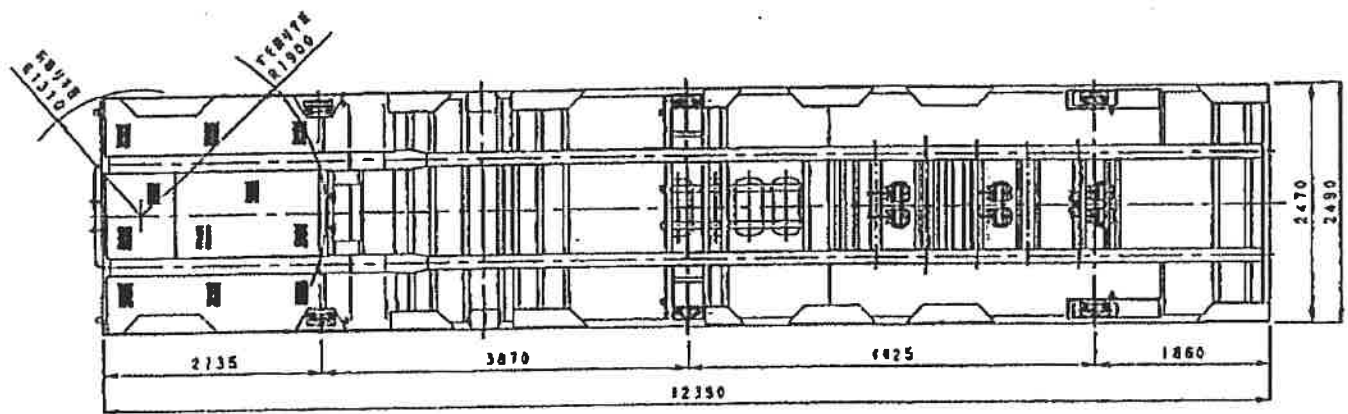


NO	品名 PARTICULARS	材質 MATERIAL	重量 WEIGHT	材料仕様 MATERIAL SPECIFICATION	備考 REMARKS
----	-------------------	----------------	--------------	--------------------------------	---------------



DESIGNER DRAWN	品名 NT21C024 全車図	DESIGNED BY	CHECKED BY	APPROVED BY
SCALE 1/50	DATE 11.17.5	DWG. NO. A0279-00000		

DATE	REVISION	MARK
------	----------	------



近運技第5121号
平成18年12月~8日

殿

近畿運輸局長



改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

- 指示事項 1.当該試作は、製造番号 60-3141 に限定する。(1台)
2.牽引車は、日野 PK-SH1EDJG (第5輪9.5t) の1型式で検討した。
3.中期ブレーキ規制適合車。
4.車台番号については、職権打刻を受けること。

主要諸元比較表

(原車・独立車)

項目	原車	改造車	基準	項目	原車	改造車	基準
車名		日通		乗車定員		—	
型式		NT21C02t		最大積載量 kg		21,500	
自動車の種類		普通		前軸重量		8,940	≦ 10t
用途		貨物		車軸間距離		6,350	≦ 10t
車体の形状		コンテナトレーラ		車軸重量		6,350	≦ 10t
車体の種類		—		後軸重量		6,340	≦ 10t
原動機型式		—		計		21,960	
総排気量 l		—		最大安定	右	※55	一般2.35 その他2.50
長さ m	(11.990)	12.530	≦ 12 m	傾斜角度	左	※55	
幅 m		2.490	≦ 2.6 m	前軸輪		—	
高さ m		1.460	≦ 3.8 m	タイヤ	前軸輪	225/70R17.5 136/134	
軸距 m		1.300 + 1.300 + 1.300		タイヤ	後軸輪	225/70R17.5 136/134	
積重	前軸	—		タイヤ	後軸輪	225/70R17.5 136/134	
	後軸	1.950		駆動時	前軸輪	—	
室内又は 荷台内制 の寸法	長さ	12.390		タイヤ	後軸輪	74.9	≦ 100%
	幅	2.470		荷重割合	後軸輪	74.9	≦ 100%
	高さ	0		%	前軸輪	74.8	≦ 100%
車両重量	前軸重量	1,730		駆動時減速割合 %		—	≧ 18.20 %
	後軸重量	1,530		リヤオーバーハング		2,030	≦ 1/2
	前軸重量	1,580		荷台オフセット m		2,970	11/26,2/3 L
	後軸重量	1,580		最小回転半径 m		※10.7	≦ 12 m
	計	6,480					

能力強度等検討

項目	制動力		車軸強度		振動強度		制動装置強度		制動装置強度		運転装置強度	
	60.1 Km/h 18.2 m	空気圧 600 kPa	車軸強度	振動強度	制動装置強度	制動装置強度	制動装置強度	制動装置強度	制動装置強度	制動装置強度	制動装置強度	制動装置強度
制動力	60.1 Km/h 18.2 m	空気圧 600 kPa	$\sigma B / \sigma = 5000 / ((560.6 \times 2.5) = 3.03 > 1.6$	$\sigma B / \sigma = 5600 / ((646.0 \times 2.5) = 3.46 > 1.6$	$\sigma B / \sigma = /$	$\sigma B / \sigma = 16920 / ((2353.7 \times 2.5) = 2.53 > 1.6$	$\sigma B / \sigma = 4200 / 1279.2 = 3.28 > 1.6$	$\sigma B / \sigma = 10000 / 2307.3 = 4.33 > 1.6$				
注1	原車・独立車の値は、該当するものを○で囲むこと。											
注2	能力強度等検討値は、取捨選択のものに、省略したものを×を記入すること。											
注3	長さ、日野 PK-SH1EDJG (第5輪9.5t) との運転時を示す。											

構造等の概要

目的	本トレーラはRS5コンテナの安全輸送を目的とし、低床式コンテナトレーラとして新たに設計したトレーラである。
車種及び車体	3軸低床式コンテナトレーラ 車体は低床の溶接構造として2本のフレームが前後から後端まで通り、クランプ、サスペンションで梯子型に形成する。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	車軸は全浮動懸架式を使用して3軸を形成する。 タイヤは235/70R17.5 136/134を12本使用する。
操縦装置	
制動装置	主ブレーキは全輪駆動のエアブレーキ式でABS装置付である。 駐車ブレーキは3軸全輪にスプリング式ブレーキチャンバを使用した方式である。
緩衝装置	半円形重ね板バネ (710×60×25×2) を使用したダブルスプリングとする。
連結装置	2インチのモンテロンを RS D 6602 規格にて製作し取付ける。
燃料装置	

注: 該当する事項がない場合には、斜線で記入すること。